

Dioxin Analysis

ダイオキシン類分析のご案内

当社は、国内におけるダイオキシン類分析機関のトップランナーとして、約30年にわたり数々の調査に携わってきました。高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計を6台所有し、年間6,000検体以上の分析をご依頼いただいています。

＜主な業務＞プラントメーカー性能試験、自治体請負調査、産業廃棄物の判定、特定施設の定期測定など

■おまかせください

「対応力」 試料採取から分析結果報告まで、すべて当社で対応可能。

「高精度」 特定計量証明事業者認定制度のシステムのもと、高品質で信頼性の高い分析。

■分析納期

試料到着から15営業日で分析結果を報告します(通常納期)。

お急ぎの場合は、「**特急分析サービス**」にも対応させていただきます。ぜひ、ご相談ください。

試料到着

公定法 (通常納期: 15営業日)

分析結果
(計量証明書)

＜特急分析も対応！＞
(特急納期: 5営業日～)

■ダイオキシン類分析の流れ



1. 試料採取 (例: 環境大気)



2. 抽出 (例: ソックスレー抽出)



3. 精製 (例: クリーンアップ装置)



4. GC/HRMS測定
(ガスクロマトグラフ質量分析計)

1. ご依頼により調査、試料の採取を行い、ラボに搬入します。
(持込試料の分析にも対応可能です)
2. 試料から、ダイオキシン類を抽出します。
3. 抽出液を精製し、測定妨害成分を除去します。
4. 高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計で測定を行います。
5. データ解析を行い、ダイオキシン類を同定・定量します。
6. 分析結果を確定し、計量証明書を発行します。

■専用クリーンルーム

クリーンルーム完備、試料濃度レベルによりフロアを区分、分析器具を専用化
分析施設は、試料間の汚染防止やケミカルハザードの観点から管理区域としています。

- ・管理区域は室圧を給排気浄化システムにより自動制御
- ・採取器材は専用室で汚染の無いクリーンな状態で準備及び管理
- ・GC/HRMS室は温度・湿度を連続でモニタリングし測定装置の安定稼働を確認

高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計(GC/HRMS)

GC/HRMSは6台所有し、測定条件に応じて専用化しています。
専用化することにより、迅速な分析を対応可能としました。

- ・Micromass社製 Auto Spec-Ultima NT 1台
- ・Thermo Fisher Scientific社製 DFS 5台



クリーンルーム入口



GC/MS室

■ダイオキシン類調査項目のご案内

I) 発生源調査 <関係法令>ダイオキシン類対策特別措置法/廃棄物の処理及び清掃に関する法律

分析媒体	調査対象
排出ガス	廃棄物焼却炉、製鋼用電気炉、鉄鋼業焼結施設、ガス化改質方式の焼却施設、固形燃料化施設、亜鉛回収施設、アルミニウム合金製造施設など
排水水・廃酸・廃アルカリ	漂白施設、廃ガス洗浄施設、湿式集じん施設、排水処理施設、下水道終末処理施設など
ばいじん・燃え殻等	廃棄物焼却炉など
汚泥	廃棄物焼却炉、下水道終末処理施設など

II) 作業環境調査 <関係法令>労働安全衛生法/厚生労働省 基発第401号

分析媒体	調査対象
作業環境大気	解体工事現場場及び敷地境界、焼却施設作業場、焼却炉周辺など
付着物、堆積物等	解体工事など
血液	解体工事従事者、焼却施設作業員など

III) 環境調査 <関係法令>環境庁告示第68号/ダイオキシン類対策特別措置法 IV) その他の調査

分析媒体	調査対象
環境大気	一般環境大気、調査対象地域、周辺調査
水質	河川、湖沼、海域、地下水
土壌	常時監視、調査対象地域、周辺調査
底質	常時監視、浚渫工事の事前調査

分析媒体	調査対象
水底土砂溶出試験	浚渫工事の事前調査など
水道水※	水道浄水及び原水
水性生物※	河川、海域の魚介類
食品※	穀類、野菜など

※納期のご相談をさせていただくことがあります

中外テクノス株式会社

[https:// www.chugai-tec.co.jp](https://www.chugai-tec.co.jp)



 中外テクノス

K501200603J-01